

ネットワークによる運用

1. はじめに

“らくらく学校図書館”のデータは、“NBook”というフォルダの中にあります。
このソフトの基本的な運用はデータパス名を次の例のように設定して運用しますが、下記に説明する方法でネットワークでの運用も可能です。

データパス名

C:\NBook¥

例1) ローカルパスの場合 C:\NBook¥

例1) ネットワークの場合 ¥ネットワークパス名\NBook¥

指定した場所にデータフォルダがない場合は、
新規にデータフォルダが作成されます。

2. データ共有による運用

ネットワーク上のパソコンから図書館ソフトがある親パソコン（ホスト）に一台または複数の子パソコン（ゲスト）を繋いで運用出来ます。

たとえば、親パソコンのネットワーク名が“PC”とすると、
子パソコンから親パソコンが接続していることを確認して、データパス名を次のようにしてください。

データパス名

¥¥PC¥C¥NBook¥

例1) ローカルパスの場合 C:\NBook¥

例1) ネットワークの場合 ¥ネットワークパス名\NBook¥

指定した場所にデータフォルダがない場合は、
新規にデータフォルダが作成されます。

あるいは、ファイルサーバーへを用意して、その中に“NBook”フォルダを置いてください。
上記の方法は、“NBook”フォルダを共有することによる運用できます。
データパス名は、下記例のように論理パス名で指定してください。

データパス名

例1) ローカルパスの場合 C:¥NBook¥
例1) ネットワークの場合 ¥ネットワークパス名¥NBook¥

指定した場所にデータフォルダがない場合は、
新規にデータフォルダが作成されます。

3. 専用ソフトのセットアップ

当社の HP より、N 貸出返却 及び N 図書検索 のアプリをダウンロードしてください。

改訂7版

- [Nらしく学校図書館\(TYO4Np.zip\)](#)
幼稚園・保育園から小学校、中学校、高等学校、小規模専門学校
- [Nこどもの図書館\(TYO4Nkp.zip\)](#)
ごどものとも社連合会のお取扱商品（内容は学校図書館と同一）
- 関連ソフト [N貸出返却](#) [N図書検索](#) [N蔵書点検](#)

ソフトが起動したら閉じるボタンを下の方を数回だぶるをクリックすると、“初期設定” ボタンが表示されますので、前述の論理パス名を設定してください。

初期設定 実行  閉じる(⊙)



データパス名

バージョンアップ

4. 運用上の注意点

- ✚ ネットワークの環境は、運用者の責任の下に維持管理してください。
電話やリモートメンテナンスによる当社でのアドバイスや不具合対応は出来ないことをご了承ください。
- ✚ ネットワークによる運用は、単独運用に比べて格段にリスクが大きいことを前提に、データのバックアップコピーは頻繁に行ってください。
- ✚ ネットワーク運用の基本ルールですが、親機パソコンまたはサーバーパソコンを最初に起動して、一番最後に電源を落としてください。特に運用途中に親パソコンやサーバーパソコンがダウンすると、データ破損を起こします。
- ✚ なお、大規模な図書館での運用の場合は、他社の図書館ソフトを検討してください。